

学校長あいさつ

さいたま市立沼影小学校長 杉渕 光芳

本校は、JR 武蔵浦和駅の南、徒歩 10 分に位置し、昭和 47 年（西暦 1972 年）の開校 38 年目の学校です。JR 埼京線と武蔵野線が交差し交通至便なことから、駅周辺地域の再開発事業がすすめられ、現在でも人口流入が続いています。

児童数 1149 名、学級数 32 学級の市内でも有数の大規模校ですが、地域・保護者の皆様の学校教育に対する期待は大きく、そして協力的です。教職員の士気も高く、保護者・地域の力強いご理解とご支援をいただきながら連携して熱心な教育活動を進めています。

本年度も、引き継がれてきたよい伝統を大切に、「明日をみつめ、今日一日を生き生きと生活する子」を具現すべく、子どもたち一人一人の成長を確認しながら、以下の学校経営方針に基づいて教育活動を進めて参ります。

1 学校の教育目標

①本校の教育目標

健 康 で
自立心にあふれ 人間性豊かな児童を育成する
創造性に富んだ

②児 童 像

「明日をみつめ、今日一日を生き生きと生活する子」

- ・かしこい子 (知)
- ・やさしい子 (情)
- ・がんばる子 (意)
- ・げんきな子 (体)

2 教育方針

(1) 児童一人ひとりのよさや特性を生かし「生きる力」をはぐくむ。(教育指導)

- ① 児童一人ひとりの内面に目を向け、個の育ちを支援する。
- ② 的確な児童理解に努め、一人ひとりを伸ばす。
- ③ 発達に即した柔軟で多様な教育活動を展開する。

(2) 豊かな心を育てる安全で美しい教育環境の整備に努める。(教育環境)

- ① 生命や人権を尊重する心情と態度を育てる。
- ② 都市化に伴う児童数の増加等の見通しを踏まえた施設設備の整備と地域・保護者・警備員と連携した安全な教育環境の確保に努める。
- ③ 校舎内外の美化・緑化活動を推進する。

(3) 家庭及び地域社会との連携に努める。(教育の連携)

- ① 地域の実態と特性を生かした教育活動を推進する。
- ② 家庭及び地域との連携を強化するとともに多様な地域活動への参加を推奨する。
- ③ 共に生きる地域を大切にする心情を高め、郷土の担い手を育てる。

3、本年度の重点目標

(1) 学習指導の研究を深め、児童が生き生きと楽しく意欲的に学ぶ授業の展開に努める。

- ア 学習意欲・関心・態度を高める指導方法・指導体制を工夫する。
- イ 基礎的・基本的な内容をおさえ、基礎学力の定着を図る。
- ウ 児童一人ひとりの創意工夫や特性を生かし、個に応じた授業の充実に努める。

- (2) 基本的な生活習慣の確立を図り、好ましい人間関係を培う生徒指導に努める。
 - ア 児童理解を深め、張りのある学校生活を体験させる。
 - イ 信頼関係を基盤にした生徒指導を充実し、健全な行動様式を育成する。
 - ウ 一人ひとりの人権を尊重する指導を徹底する。
- (3) 心身ともにたくましく、協調性のある健康な児童の育成に努める。
 - ア 進んで体力づくりに努める体育的教育活動を工夫実践するとともに全教育活動を通して体力の向上に努める。
 - イ 潤いの時間・体育指導・保健学習・保健指導・給食指導・安全指導・読書指導を着実に実践し、健康教育の充実に努める。
 - ウ 自主的活動を重視した奉仕的・ボランティア的な児童活動を推進する。
- (4) 教育環境の整備に努め、豊かな人間性を育てる。
 - ア コンピュータ室を始め教材教具を効果的に活用し、情報化時代の対応に努める。
 - イ 緑化活動の充実と校舎内外の整備・安全確保に努める。
 - ウ 理科教育(環境も含め)・福祉教育の充実と勤労生産的・奉仕的な体験活動を重視する。
- (5) 家庭及び地域社会との連携を一層強化する。
 - ア 教職員評価システムに基づく学校づくりに努め、外部評価を一層推進する。
 - イ 児童の健全育成のための地域との交流教育活動を充実する。
 - ウ 地域を愛し、郷土とともに生きる心情の高揚に努める。

4、指導の重点

- ◎ 教科担任制(一部)や少人数指導・習熟度の程度に応じた指導等を工夫・発展させ、基礎学力の向上・定着や思考力・表現力・判断力等の知力(賢さ)を高める指導の充実に努める。
- ◎ 研究の成果・課題を生かした研究を継続し、協働による研究活動を推進するとともに、教師としての実践的指導力・専門的知識等を伸ばし、知力を高め楽しく意欲的に学ぶ児童の育成を目指す。
 - ・平成22・23年度 さいたま市教育委員会研究指定「教育課程(国語、体育、道徳)」
 - ・平成22～24年度 さいたま市教育委員会 さいたま市小・中一貫「英会話」研究推進モデル校
- ◎ 「ぬくもりタイム」「まるやかタイム」「かがやきタイム」「げんきタイム」を充実させ、豊かな教育活動を推進する。
 - ・児童一人ひとりのよさや特性を生かし、知力(賢さ)を中核とした「生きる力」を醸成する。
 - ・健康安全に留意し、体力づくりや緑化活動を発展・充実させる。
 - ・児童の立場を踏まえた的確な児童理解を行い、適切な人間関係づくりを構築する。
- ◎ 基本的な生活習慣の形成
 - ・「時を守り、場を浄め、礼をつくす」態度の実践指導
 - ・「心を潤す4つの言葉(はい、おはようございます、ありがとうございます、ごめんなさい)」の指導強化。
- ◎ 「すくすくのびのび子どもの生活習慣改善」キャンペーンを推進する。
- ◎ 学校評価の方法及び内容の改善を図ると共に、外部評価の公表と自己評価シートに基づく教職員評価システムを着実に推進する。
- ◎ 沼影小学校の規律ある行動・よい子のくらしを推進する。
- ◎ 教育相談体制の充実・・・さわやか相談員、スクールカウンセラーの活用